

令和 5 年度

第 1 回多治見市福祉施設指定管理者候補団体選定及び評価委員会議事録（案）

日 時：令和 5 年 7 月 11 日（火）

14:00～16:00

場 所：多治見市総合福祉センター 4 階大会議室

出席委員： 花井文治委員長、今村嘉津子副委員長、麻生みゆき委員、稲葉典子委員、東山学史委員、森久雄委員、
（50音順）

事務局： 福祉部長 加藤泰治、福祉課長 渡辺康之、高齢福祉課長 前田あゆみ、福祉部課長 伊藤和可奈、
福祉課 安井宏治、山田康則、前田ひさ佳、高齢福祉課 内山祐介、
子ども支援課 鈴木良平、寺岡真実

1 あいさつ

2 委員紹介

3 議題

令和 5 年度（令和 4 年度分）指定管理者の評価について

○委員長 ただいまから、令和 5 年度第 1 回多治見市福祉施設指定管理者候補団体選定及び評価委員会を開催する。会議の公開・非公開について事務局の意見を請う。

○事務局 委員による全体審議は非公開、それ以外は公開でどうか。

（特になし）

○委員長 委員の意見がないので、事務局案にする。初めに、加藤福祉部長から挨拶いただく。

（福祉部長 挨拶）

○福祉課長 委員の委嘱について、説明する。

○委員長 委員から自己紹介をお願いします。

（各委員 自己紹介）

○委員長 会議の成立、会議の予定、審議に当たる注意事項等を事務局から説明願う。

（事務局 会議の成立、資料確認、スケジュール、注意事項について説明）

○委員長 今までの説明で質問はあるか。

（特になし）

○委員長 それでは、議題 1 令和 5 年度（令和 4 年度分）指定管理者の評価についてを議題とする。総合福祉センター、サンホーム滝呂、ふれあいセンター姫、かさはら福祉センターの評価書案について、事務局から説明願う。

（事務局 総合福祉センター、サンホーム滝呂、ふれあいセンター姫、かさはら福祉センターの評価書案について説明）

○委員長 今までの説明で質問はあるか。

(特になし)

○委員長 それでは、指定管理者に入室いただく。

(多治見市社会福祉協議会 入室)

○委員長 総合福祉センター、サンホーム滝呂、ふれあいセンター姫、かさはら福祉センターの指定管理業務について指定管理者の多治見市社会福祉協議会から説明願う。

(多治見市社会福祉協議会 説明)

○委員長 ただいまの説明について意見や質問はあるか。

○委員 若い人から高齢者まで幅広い年代の人達に利用してもらうために、かなりの苦勞をしていることがわかる。また、どの施設も、交通の便が良くないので、集客は難しいが、縦横のつながりをしっかりして、地域住民のニーズに応えるように、今以上の活動をしてほしい。

○委員 コロナ禍で苦勞していると思うが、自分が利用した施設は利用者が増えたと感じた。コロナ禍の影響で家にこもっている方がいるので、住民が何をしたいのかニーズの掘起しが大切。「訪問活動」は、興味のない人には意味がないので、他の手段を考えた方がいいのではないか。せっかく各施設で様々な事業をしているので、もっと住民に伝えられると良い。福祉センターのリハビリ指導はとてもよいことだと思う。訪問介護でのリハビリや、介護保険を使ってできるリハビリ施設は少ないので、福祉センターのリハビリ指導は非常に有難かったが、コロナ禍があけて再開したか。

○指定管理者 障がい者センターの鍼灸マッサージについては、3月末日付けの職員退職に伴い休止している。後任を募集中なので今は再開していない。後任が決まり次第、再開したい。

○委員 リハビリを必要としている人は大勢いるが、なかなかやってもらえないとの声を聞く。でも、コロナ禍で大変な努力をしていることは伝わってきた。

○委員 高齢者が活動できる施設で、様々な事業をしていることが理解できた。現在は第9波のコロナ禍なので、外出は控えると思うが、高齢者が生き生きと活動できる施設であってほしい。また、児童センターでも児童が楽しく活動できるような施設を提供してほしい。どの施設の資料でも、いろいろな事業をしていることがわかった。

○委員 4施設ともいろいろな工夫が伺われたので、多くの住民に施設のことを知ってもらえる方法があればいいと思う。

子ども達のことを考えると、人との関わりが少しずつできてきたところで、コロナ禍が収まり、外に出て地域との関わりが持てるようになった。ボランティア活動により、人の役に立つことを経験することで、自己肯定感が強まるので、ぜひ活躍の場を拡げていただきたい。それが世代交流になり、地域のコミュニティーの場が広がっていくので、ボランティアをたくさん募集していただき、子ども達にたくさんの活躍の場を持たせてほしい。

○委員 自分はサンホーム滝呂を利用しているが、デイサービスを利用している車いすに乗った方が、椅子に座って体操していて「すごく楽しい」と言っておられた。「老

後安心講座」は総合福祉センターだけで実施しているのか。

○施設管理者 「老後安心講座」は、総合福祉センター、サンホーム滝呂、ふれあいセンター姫にもある。ただ、ふれあいセンター姫は、参加人数が規定に達していないので実施していない。工夫などして参加人数を集めていきたい。

○委員 ニーズを拾うことが大事という声と広報活動をもう少ししたらどうかの声を委員から聞いた。また、コロナ禍があげたことにより、アクリル板の撤去等の施設管理の面や、人件費やエネルギー高騰による光熱水費の問題等の経営状態の面を教えてください。

○指定管理者 ニーズ把握については、意見箱を設置し、アンケートの実施をしている。かさはら福祉センターでは、コロナ禍によるひきこもり状況に関するアンケートを行い、状態把握に努めている。また、アンケートを基に、ニーズに沿った事業をしていくように考えている。経営に関して、職員が複数の仕事を兼務することで人件費を抑えている。光熱水費については、市の補助金で補うことができた。

○委員 ニーズ関係で若い人達の情報キャッチはどうか。

○指定管理者 太平児童センターでは「ご意見聞くぞうくん」という意見箱で年2回アンケートを実施した。中高生スペースには意見箱として「フリーQ」を設置し、意見を聞いた。

○委員 どんな意見があったか。

○指定管理者 中高生は、意見としては「W i F i 設置を希望する」が圧倒的に多い。理由の一つとして、「ドラムルームで、ギターを弾く時に、YouTube が見られないので」とのこと。

○委員長 他に質問はないか。

(特になし)

○委員長 他に質問がないようなのでこれで質疑応答は終了とする。

(多治見市社会福祉協議会 退室)

○委員長 それでは、総合福祉センター、サンホーム滝呂、ふれあいセンター姫、かさはら福祉センターについて、この評価で決定するがよろしいか。

(異議なし)

○委員長 それでは本日の審議は終了した。今後の予定等について事務局から説明願う。

(事務局 説明)

○委員長 これにて、第1回多治見市指定管理者候補団体選定及び評価委員会を終了する。